

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光名所（職 員）	来客数の動き	・ 去年の9月は台風の影響が2回あったが、今年はまだ無く、施設利用者数は順調に推移している。3か月前の6月は前年同月比105.1%であったが、9月25日現在では前年同月比は111%である。来園者は、家族連れ、女性の友人同士、カップルが多い。
	やや良く なっている	一般小売店〔衣 料品・雑貨〕 （経営者）	販売量の動き	・ 前年比120%と好調な結果である。2週にわたり3連休が続いたため、週末の売上アップにつながったのがその要因である。
		百貨店（担当 者）	販売量の動き	・ 8月までの好調から一転して苦戦の9月となっている。懸念の衣料品の入荷状況の遅れと、9月11日衆議院選挙の影響が大きい。特に選挙前1週間の不振は顕著で、期間において前年比12%の減少である。昨年の9月は台風による影響が大きく、本年はこの影響を受けなければ6～7%の改善が見込まれていたが、選挙、衣料の入荷遅れがあり、結果的に9月単月で前年比3%弱の増加と厳しい結果である。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・ 観光客が好調である。落ち込み部門はあるもの、徐々に回復している。前年より安定的な伸びがみられる。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・ 例年9月中旬より観光客の来店が激減するが、今年は月末まで好調である。
		観光型ホテル （商品企画担 当）	来客数の動き	・ 昨年に比べて大型団体は減っているが、個人旅行が好調に推移している。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・ 販売台数や機種変更の需要が増加している。
		ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・ 以前ほどの営業努力は不要となっている。
	その他のサービ ス〔レンタ カー〕（営業担 当）	来客数の動き	・ 今年は沖縄本島への台風の上陸は無く、前年比で7%ほど上回っている。	
	変わらない	都市型ホテル （スタッフ）	単価の動き	・ 9月に入って修学旅行の入り込みが増加し、客室稼働率は良いものの、客単価が上がりず売上増にはつながっていない。地元客の動きも鈍く、9月は3か月前と比較して全般的に変化が無いように感じる。
やや悪く なっている	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・ 既存店の来客数が前年比97%となっている。全体的には、開店1年以内の新規店舗で何とかカバーしているが、3年以上経過した店舗の落ち込みが目立つ。昨年の今頃は、5年以上経過した店舗の落ち込みが目立っていた。	
	家電量販店（従 業員）	販売量の動き	・ 8月までは商品の動きが見られたが、9月に入ってから動きが鈍くなっている。家電大型量販店の相次ぐ新規開店前の買い控え行動とも考えられるものの、極端な落ち込みである。開店後の落ち込みも懸念される。	
悪く なっている	コンビニ（経営 者）	競争相手の様子	・ ここ6か月で、スーパーの新装オープン等が数店舗あり、対前年比で売上が7%減少している。	
	住宅販売会社 （経営者）	競争相手の様子	・ 同業者が次々倒産しているか、解散又は閉鎖している。今後、年末に向けてこの動きは一層激しくなる。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	通信業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・ 企画提案への参加の呼びかけが多くなっている。仕事をこなせば売上につながるが既に手一杯である。案件当たりの価格が下落傾向なので全体としての売上は大きく変わっていない。
通信業（営業担 当）		受注量や販売量 の動き	・ 新規受注量は過去3か月平均的な水準をキープし、単価が高く収益率の高い回線の需要も一息ついている。	

		不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・問い合わせや成約が横ばいである。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い及び問い合わせの数の動きが鈍い。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・台風の影響で、再三離島への輸送ができず物量が減少している。
	悪くなっている			
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼は少しずつ増えている。また入域観光客数が過去最高であるというニュース等に明るいムードを感じる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・IT系の企業を中心に、それ以外の業界の求人も増加傾向にある。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・従来ならばほとんど採用が終わっている本土企業からも秋季の採用が増加している。また、県内企業でも2次募集が増加している。
変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・全体的な求人数の動きが横ばいの状況である。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月と比較すると、新規求人数は4.1%増の3577人である。一般求人は2.0%減で2775人（構成比77.0%）である。パート求人は31.5%増の822人（構成比23.0%）である。8月の新規求人は建設、情報通信、運輸、医療福祉、教育学習支援、サービスで増加し、その一方で卸売・小売、金融・保険、不動産、飲食、宿泊で減少した。有効求人倍率は0.04ポイント低下し0.48倍である。就職件数は3.1%増加している。また、前年同月比では情報通信、医療福祉は大幅に増加している。	
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-